

令和元年度 記者懇談会（第5回）の記録

- 日 時 令和元年 8 月 30 日（金）午後 3 時 30 分
場 所 水道庁舎 4 階 会議室
記者数 6 人
同席者 飯川副市長、若山副市長、総務部長、経済部長、健康福祉推進担当次長
次 第 1 いわみざわハート&アート 2019、岩見沢アール・ブリュット芸術祭
2019 について
2 定期排雪助成について
3 いわみざわ百餅祭り、いわみざわ情熱フェスティバルについて



いわみざわハート&アート 2019、岩見沢アール・ブリュット芸術祭 2019 について

説明内容

(市長)

「いわみざわハート&アート 2019」と「岩見沢アール・ブリュット芸術祭 2019」という二つのイベントの開催について、ご説明します。

初めに、今年で10年目を迎える「いわみざわハート&アート 2019」について、ご説明します。

9月13日（金）から19日（木）までの1週間、いわみざわ健康ひろばで、障がいのある方の芸術作品を中心に集めたアート展を開催します。毎年100点以上の出品があり、今年もたくさんの方の芸術作品をお楽しみいただけたと思います。

また、13日（金）午前10時からのオープニングセレモニーでは、岩見沢清丘園よさこいチームによる「よさこいソーラン演舞」などを予定していますので、こちらもぜひご覧ください。

次に、「岩見沢アール・ブリュット芸術祭 2019」について、ご説明します。

岩見沢市では、平成28年から3年連続で「北海道アール・ブリュットフォーラム」を開催してきました。今年は11月10日（日）から24日（日）にかけて、イベントホール赤れんがと市民会館まなみーるの二つの会場を使い、芸術祭を開催します。

昨年は、フランス元首相であり、ナント市の名誉市長でもあるジャン・マルク・エロー氏をお招きし、芸術文化を生かしたまちづくりをテーマにフォーラムを開催しました。

今年も引き続き、2017年のフランス・ナント市でのプロジェクトに焦点を当てながら、ナント凱旋展と北海道展の二つのアール・ブリュット展をはじめ、和太鼓の演奏、創作ダンスパフォーマンス、バリアフリー映画の上映、国際研究フォーラムを実施します。

詳細は、今後、市のホームページなどでお知らせします。

また、昨年初めて実施した障がいのある方の舞台芸術「アール・ブリュット ショウケース」を11月24日（日）に同時開催します。

「いわみざわハート&アート 2019」と「岩見沢アール・ブリュット芸術祭 2019」の開催によって、障がいのある方の芸術活動への理解が深まり、多様な人々が自分らしく暮らすことができるインクルーシブな社会が実現することを期待しているところです。

質疑応答

(北海道新聞)

「岩見沢アール・ブリュット芸術祭 2019」は、一定の期間内に展示やステージなど盛りだくさんの内容になっているようですが、このイベントにより発信したいことを教えてください。

(市長)

これまでの過去 3 回のアール・ブリュットに関する取り組みに共通することは、インクルーシブな社会の実現に向けた取り組みです。そのため、障がいのある方の作品展示だけでなく、舞台芸術も含めた多様な視点で総合的にアール・ブリュットの振興に努めたいと考えています。

定期排雪助成について

説明内容

(市長)

まもなく秋になり、秋が過ぎればすぐ冬になりますので、すでに冬の準備を始めたところですが、冬の暮らし支援事業において、今年度新たに「定期排雪」の費用の一部を助成することにしました。

「定期排雪」とは、10 回以上の運搬排雪をシーズン契約により行うもので、排雪業者のサービス名では「シューイチ排雪」や「シーズン排雪」と呼ばれているものです。

冬の暮らし支援事業ではこれまで、雪の処理を自力で行うことが難しい 70 歳以上の高齢者のみの世帯、または、障害者手帳をお持ちの方がいる世帯を対象として、平成 24 年度より「屋根の雪下ろし」、昨年度より「間口の置き雪除雪」の費用の一部を助成しています。

さらに今年は、「定期排雪」の助成を加えます。

市民の皆さまが冬の暮らしを安全・安心に送ることができるよう、引き続き全庁体制で総合的な雪対策に取り組んでまいります。

質疑応答

なし

いわみざわ百餅祭り、いわみざわ情熱フェスティバルについて

説明内容

(市長)

9 月のイベントとして恒例になりました「いわみざわ百餅祭り」と「いわみざわ情熱フェスティバル」についてご説明します。

9月14日（土）から16日（祝）までの3日間、4条西2丁目交差点を基点とし、1条から5条までの栄通りで「第37回いわみざわ百餅祭り」が開催されます。

主な内容として、4条西2丁目交差点で「大白餅つき」が7回、「長寿もちまき」が3回開催される予定であり、14日（土）の午後3時から栄通りで飲食・物販などの約20店舗が出店する「百餅市」が開催され、午後4時からオープニングセレモニーが行われます。

また、14日（土）・15日（日）の2日間、岩見沢ホテル4条の前にキッチンカー11台が並び、「キッチンカーマルシェ」が実施されます。

さらに、15日（日）・16日（祝）の2日間、4条通り商店街では4条西2丁目から西5丁目を会場とし、3歳から小学6年生までの子どもと大人の2人1組で餅をつく「4条チビっ子百餅つき」が開催されます。

この「いわみざわ百餅祭り」期間中の9月15日（日）・16日（祝）に、駅東市民広場公園とイベントホール赤れんがで「いわみざわ情熱フェスティバル」が開催されます。

出展内容は、岩見沢産の食材を使用した飲食メニューの提供や販売、市内で製造された製品の販売や展示、JAいわみざわ等による地元産の新鮮で安全・安心な農産物の直売、加工品の販売、釧路市や紋別市との産地間交流の出店となっています。その他、JAいわみざわ等による各種ステージイベントも予定されているとのことです。

また、今年で3回目の開催となる炭鉱グルメエリアでは、三笠の石炭ザンギ、美唄のとりめし、赤平のガンガン鍋、歌志内のなんことという4自治体からの出展を予定し、炭鉱グルメを含めて全体で21企業・団体の出展を予定しています。

一昨年は台風の影響で百餅祭り3日目（情熱フェスティバル2日目）が中止、昨年は台風と地震のため全日程が中止となりました。

今年は天候等に恵まれ、祭りが無事に開催されることを願っています。

質疑応答

(HBC)

「大白餅つき」はこれまで初日も実施していたと思いますが、今回は2日目・3日目のみということですか。

(市長)

実行委員会により実施の時期を見直し、回数はこれまでと変わりませんが、初日の実施はなくし、2日目と3日目で計7回の餅つきを実施することになります。

(HBC)

初日分をやめて、2日目と3日目で1回ずつ増えたということですか。

(市長)

そうです。

(読売新聞)

「大白餅つき」で使われる餅米は一度に 60 キロということによろしいですか。

(市長)

はい。一度に 60 キロの餅米をつく餅つきが 7 回行われるということです。

その他

質疑応答

北海道胆振東部地震から 1 年が経過して

(北海道新聞)

もう少しで北海道胆振東部地震から 1 年が経過することになりますが、その地震の経験を受け、この 1 年間、岩見沢市の対応や進捗状況、どのようなことを意識して対策を進めてきたか教えてください。

(市長)

災害には、地震だけではなく、激甚化・集中化・局地化している集中豪雨があります。特に、九州北部が大変な事態に陥っています。

地震、水害、冬の豪雪などの自然災害が激しくなっており、北海道胆振東部地震、特にブラックアウトの経験と教訓を踏まえ、その対応として拠点避難所に自家発電機を整備しました。

さらに、町会・自治会と協議し、町会会館などに 80 台を超えるポータブル発電機を設置しました。今後は、特に停電に備えて、その運用を充実していく必要があるだろうと考えています。

また、自然災害、特に水害のときの避難体制をどのように的確に伝えていくかということでしょうか。気象庁による 5 段階の警戒レベルもありますし。

岩見沢市では、河川ごとの水位に着目したタイムラインをすでに作ってあります。単純に時間の経過だけで機械的に対応するというよりは、河川の水位をしっかりと把握しながら必要な対策をしていきます。

その後、雨の降り方や降った地域にもよりますが、河川ごとの避難地域をより正確に、と言いますか。

例えば、過去に大雨特別警報が発令されたとき、市内全域に避難指示が出ました。ただし、市内には丘陵地などの水がつかない地域がありますよね。

このような地域の差を念頭に置き、河川ごとのハザードマップを基に、速やかな避難所の開設、対策本部の立ち上げ、職員の配置、運営の協力などについて具体的に検討を進めています。

また、災害情報をできるだけ詳細に正確にリアルタイムで把握したいので、例えば、岩見沢ドローンフライトクラブの皆さんと災害時における支援活動に

関する協定を結んでご協力いただける体制としたり、岩見沢消防署にドローンを 2 機配備しており、災害現場はもちろん、行方不明者の捜索などにも使うこととなります。

このように、岩見沢市が持っているリソースや機動力を統合して運用できるようにするにはどうしたらいいか研究しているところでして、また、新庁舎は防災拠点となりますが、その中での情報共有を高度化できないかという観点でも研究をしているところです。

(注) 記録の内容については、重複した言葉遣いや、明らかな言い直しがあったものなどを整理した上で作成しています。(作成：岩見沢市秘書課広報係)